



GIA
Gunma Innovation Award

群馬イノベーションアワード2023 トップ座談会⑥【最終回】

起業家発掘プロジェクト「群馬イノベーションアワード(GIA)2023」(上毛新聞社主催、田中仁財団共催)トップ座談会の最終回は、座長の高橋健次ファームドゥグループファームランド本部長ら9人が、「これか

らの成長戦略」をテーマに意見を交わした。変革や事業発展に向けて取り組む新規事業などについて活発な発言が飛び交った。

新時代の価値創造へ

パニッシュスタンダードCEO

小野里寧見氏

東京・原宿で11企業を経営している。洋服店などの店舗スタッフやECサイトで働ける仕組みをつくらせた。昨年は1750億円売り上げた。弊社の成長戦略は大きく四つ。一つ目はAI化。AIで店舗スタッフと顧客を上手にマッチングし、最高

四つの戦略 市場拡大

の接客、ショッピング体験を提供する。二つ目は、人の力で店舗に呼ぶための来店検知システムの構築。一人のスタッフを起因に顧客がどれくらい来店したかを数値化し提供する。三つ目は海外戦略。現在は台湾へ進出し、国内以上の評価を得ている。四つ目はブランドのファンがECサイトに投稿できる仕組みをつくる。一般の人が入り込むことで市場は格段に拡大していくと考えている。

HAWOOD社長

宮崎 雄一氏

飲食店の店舗と、生ドレッシングの製造・販売を手がけている。「ハビネス」すべての人を幸せに」を理念に10年続けてきた。時代は変化し、価値観も変わってきている。これまでのように、単純に店舗を増やしていくことが企業の

お客様の笑顔 喜び

成長とは言えない。当社はファミレスを経営しているが、自身も社員も元は料理人店舗を増やし展開するために、セントラルキッチンで調理したものを温めて提供して、それでいいの。社員のやりがいが、お客様の笑顔と真摯に向き合っているか。本来おいしいものを提供し、お客様が楽しく食事をしてくれることが喜び。その思いを根底に、成長を目指している。

みやざき・ゆういち 1972年、熊本市生まれ。2001年に群馬県に移り住み、イタリア料理を学ぶ。13年にイタリアンレストラン「ピッツェリア・ベスカ」を開店。前橋市で2店舗を展開する

小淵警備保障社長

小淵豊太郎氏

伊勢崎市を中心に工事現場等の交通誘導警備をしている。そのほか、電気工事や電柱の設置、介護事業などを展開している。同市のインフラを担う企業として「伊勢崎の日常を見守る」を理念に掲げている。現在、交通誘導警備の需要は拡大

ニーズ合わせた警備

している。併せて電気工事等の受注も伸びているが、高齢化や人材不足など警備業界全体が抱える課題も多い。課題解決や業界を革新したいという思いで、県警備協会青年部の会長を務めている。太陽光パネルや農作物の盗難防止、バイオセキュリティなどは伸ばせる分野だと考えている。交通誘導を中心に、世の中のニーズに合わせた警備業を拡大していきたい。

おぶち・とよたろう 1987年、伊勢崎市生まれ。製業会社の営業職を経て、2014年に小淵警備保障に入社。22年から現職。インソールメーカーBMZと座談会で知り合い、共同で商品開発に取り組む

永井酒造社長

永井 則吉氏

川場村で「永世蕉」と「谷川岳」という日本酒造りをして、今年で137年になる。日本酒には2千年の歴史があるが、海外へ輸出が始まったのはほんの20年前。現在、国内の日本酒市場はピーク時の4分の1まで縮小し、

日本酒文化を世界へ

供給過多の状態だ。しかし、世界の市場は無限に広がっている。当社輸出量は毎年倍増している。お客様に美しい田園風景が広がる川場村を訪れてほしいと考え、テイニングルーム「SINKA」を8月にオープンした。完全招待制1日1組限定で熟成酒やスパークリング日本酒が味わえる。日本酒は文化だと思っている。その価値創造を広め、成長につなげたい。

ながい・のりよし 1972年、川場村生まれ。95年に永井酒造に入社。専務取締役工場長を経て2013年から現職。世界基準を設定した「awa酒協会」を16年に設立し、理事長を務める。会員酒蔵は30社に上る

石井設計グループ代表

石井 繁紀氏

総合建築事務所として石井設計と石井アーキテクトパートナーズを運営。2015年に、まっちゅくりコンサルタントの石井アーバンデザインリサーチを立ち上げた。法人建築を対象にする当グループは、企業の景気動向に左右される側

時代を見極め成長

面がある。創業時は県外のホテル建設に関わり、バブル崩壊後は公共施設建設が増えた。現在は生産設備や事務所の建設が多い。時代の変化を的確に見極め、時流に合わせて成長してきた。これまでエネルギーゼロ建築を進め、ネット・ゼロ・エネルギー・ビル2棟を受注建設した。現在の先端技術を使いこなし、先の技術へつないでいくことが当社の成長戦略である。

いしい・しげのり 1964年、前橋市生まれ。大学卒業後、石井設計入社。2004年から石井設計、石井アーキテクトパートナーズの社長を務め、15年に石井アーバンデザインリサーチを設立。1級建築士



石井 繁紀氏

永井 則吉氏

小淵豊太郎氏

宮崎 雄一氏

小野里寧見氏

三原 二郎氏

鬼形 尚道氏

田子 宏美氏

高橋 健次氏

ファームドゥグループファームランド本部長

高橋 健次氏

弊社は四つの事業を柱にしている。一つ目は小売り事業で、群馬の野菜を東京・神奈川へ輸送し、販路拡大を図ってきた。消費者ニーズに合わせて調理時間を短縮する加工品の商品開発や製造販売、宅配サービスにも力を入れている。

食とエネルギーで貢献

一つ目は農地に設置したソーラーパネルで発電し、その下で作物を育てる弊社独自のソーラーファームシステムの全国展開。三つ目の再生可能エネルギー事業は、太陽光を中心に発電所が230カ所稼働。PPA(電力販売契約)の事業化を進めている。四つ目の海外事業は、モンゴルとチリでソーラーファーム事業を展開。食とエネルギー事業を通じた社会貢献が弊社の成長戦略である。

田子会計事務所代表

田子 宏美氏

当事務所は女性や若手が活躍し、高い機動力でお客様の役に立てるよう動いている。今、会計業務を取り巻く環境が大きく変化している。今からはインボイス制度の導入、来年1月には電子帳簿保存法の改正など、中小企業

中小企業と二人三脚

の負担が増えている。各社の経理担当者は増える業務に対応できるかという、難しいだろう。そこで、当事務所の出番になる。私たちは、お客様と共に経理を見直し、AIやクラウド会計の導入を支援して業務の負担を軽減。そこから導き出した経営に必要な数字を提供するためのサポートに注力する。中小企業のパートナーとして二人三脚で成長していきたい。

たご・ひろみ 1980年、前橋市生まれ。税理士、中小企業診断士。名古屋で勤務後に帰郷し、2019年から現職。女性経営者、創業者の支援、事業承継、コンサルティングに力を入れている

群馬県信用保証協会会長

鬼形 尚道氏

当協会は中小企業・小規模事業者が金融機関から融資を受ける際、保証人となって借入れを円滑に進めるための公的機関。県内の2万6千社が利用している。事業活動をサポートし企業の成長戦略を後押しする立場から見ると、

事業継承支援に尽力

県内の中小企業は、極化している。意欲的に将来を見据える企業がある一方、後継者がなく廃業する企業もある。事業継承は、親子でも上手くいかないことも多い。そこを金融機関と連携し、重点的に支援したいと考えている。これまで保証業務中心だったが、経営支援や本業の見直し、事業再生、承継等にも力を入れていく。中小企業に寄り添い、将来性を引き出す支援をしたい。

東京海上日動群馬支店長

三原 二郎氏

群馬は3年目。限られた期間だが、地元の役に立ちたいと参加した。保険業界は今、グーグルの参入により危機に直面している。プラットフォームと競争していくかが課題だが、ネットなどの通販型と比べ、我々はお客様の声を直接聞くことが

社会課題解決を目指す

できる。強みだと感じている。自動車事故は10年に1度あるかないかで、保険の価値を感じてもらいにくい。未然に事故を防ぐことや被害の極小化に努めることが、今後の成長につながる。中小企業支援「サイバーリスク」「ヘルスクア」「グリーントランスフォーメーション(GX)」の四つの柱で社会課題の解決に取り組み、成長を目指していく。

みはら・じろう 1971年、東京都生まれ。東京海上火災保険株式会社(現東京海上日動)入社。営業開発部部長等を経て、2021年より現職。群馬県内の様々な事業者、自治体と連携し、社会課題解決に取り組む